

# Lockdown Setting Tool 取扱説明書

C77982000

本書では、ドライブの保護やデジタルサイネージ設定のためのツール「Lockdown Setting Tool」の使用方法について記載しています。

## 目次

Lockdown Setting Tool を使うための準備 .....	2
Unified Write Filter を有効にする .....	2
Lockdown Setting Tool を起動する .....	2
PC 起動時にコンテンツを自動実行するための準備 .....	3
「再生モード」アカウントの作成 .....	3
自動サインイン設定 .....	3
違うアカウントで自動実行するには .....	3
PC 起動時にコンテンツを自動実行する .....	4
スライドショーを行う .....	4
URL を表示する .....	6
動画を連続再生する .....	8
ドライブを保護する (Unified Write Filter) .....	10
キーボード入力を制限する (Keyboard Filter) .....	10
そのほかの機能 .....	11
システム診断をする .....	11
輸送・保管モードに設定する (バッテリー搭載機種のみ) .....	12
アプリを追加登録する .....	12

# Lockdown Setting Tool を使うための準備

「Lockdown Setting Tool」を使用するには、次の準備作業(Unified Write Filter を有効にする)が必要です。準備作業は管理者アカウントで行ってください。

## Unified Write Filter を有効にする

ドライブの保護設定機能「Unified Write Filter」を有効にする方法は次のとおりです。

- 1 デスクトップの「UnifiedWriteFilter 設定」アイコンを右クリックし、表示されたメニューから「管理者として実行」を選択します。



- 2 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、[はい] をクリックします。  
Windows が自動的に再起動します。これで設定は完了です。

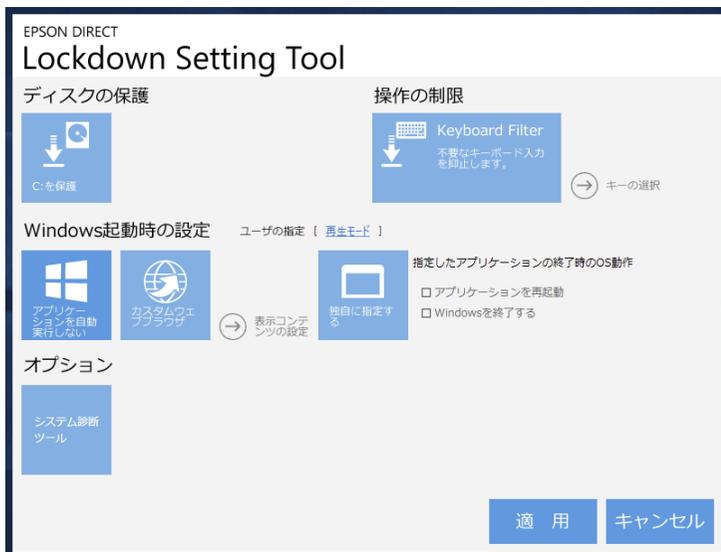
## Lockdown Setting Tool を起動する

「Lockdown Setting Tool」は、デスクトップのアイコンから起動します。

※ 「Lockdown Setting Tool」は管理者アカウントでのみ設定可能です。



アイコンを右クリックして  
「管理者として実行」を選択



濃い青のタイル：機能が有効になっています。

## PC起動時にコンテンツを自動実行するための準備

PC 起動時にコンテンツを自動実行するためには、次の準備作業が必要です。  
設定は管理者アカウントで行ってください。

- 「再生モード」アカウントの作成
- 自動サインイン設定

### 「再生モード」アカウントの作成

「再生モード」アカウントの作成方法は次のとおりです。

- 1** [スタート] –  (設定) – 「アカウント」 – 「家族とその他のユーザー」 – 「その他のユーザーをこの PC に追加」を選択します。
- 2** 以降は画面の指示に従ってアカウントを作成します。  
「ユーザー名」は 全角で「再生モード」としてください。  
パスワードは必要に応じて設定してください。

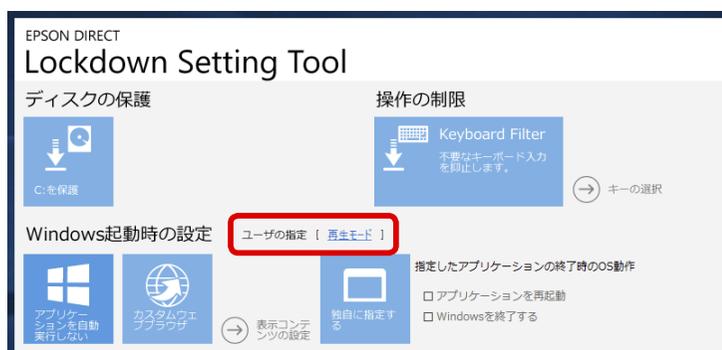
### 自動サインイン設定

ここでは「再生モード」アカウントで自動サインインする方法を説明します。

- 1** 画面左下の  をクリックし、「netplwiz」と入力して  を押します。
- 2** 「ユーザーアカウント」画面が表示されたら、「再生モード」を選択し、「ユーザーがこのコンピューターを使うには…」のチェックを外して [OK] をクリックします。
- 3** 「自動サインイン」画面が表示されたら、[OK] をクリックします。  
これで設定は完了です。再起動すると、「再生モード」で自動サインインします。

### 違うアカウントで自動実行するには

「再生モード」以外のアカウントで自動実行する場合は、アカウント作成後、自動サインイン設定を行い、「Lockdown Setting Tool」の「ユーザの指定」でアカウントを変更します。



以降は「再生モード」を「設定したアカウント名」に読み替えて作業を行ってください。

# PC起動時にコンテンツを自動実行する

PC 起動時にコンテンツを自動実行する設定について説明します。

- スライドショーを行う …  p.4
- URL を表示する …  p.6
- 動画を連続再生する …  p.8

## スライドショーを行う

PC 起動時にカスタムウェブブラウザでスライドショーを表示させる方法は次のとおりです。

※作業の前に必ず  p.3「PC 起動時にコンテンツを自動実行するための準備」を行ってください。

### 1 スライドショーに使用する画像と HTML 設定ファイルを準備します。

※ 購入時は画像 5 つと HTML 設定ファイル 5 つが保存されています。

※ 画像 1 つに対して HTML 設定ファイルが 1 つ必要です。

※ ここでは例として、横 1366 × 縦 768 の画像 3 つ (A.jpg, B.jpg, C.jpg) と HTML 設定ファイル 3 つ (A.html, B.html, C.html) を使用する前提で説明します。

#### <画像の準備>

- 1 次の場所に画像 (A.jpg, B.jpg, C.jpg) を保存します。

[スタート] を右クリック - 「エクスプローラー」 - 「PC」 - 「Windows(C:)」 - 「EDC\_Signage」 - 「HTML」 - 「wallpaper」

#### <HTML 設定ファイルの準備>

- 1 購入時に保存されている HTML 設定ファイルをコピーし、名前を変更します。

[スタート] を右クリック - 「エクスプローラー」 - 「PC」 - 「Windows(C:)」 - 「EDC\_Signage」 - 「HTML」 - 「01(.html)」をデスクトップにコピーし、ファイル名を「A(.html)」に変更します。

- 2 「A(.html)」を右クリック - 「プログラムから開く」 - 「別のプログラムを選択」 - 「その他のアプリ ↓」 - 「メモ帳」を選択し、[OK] をクリックします。

- 3 メモ帳が開いたら、次の **赤字箇所** を書き換えます。

下から 4 行目

```
<div align="center">
```

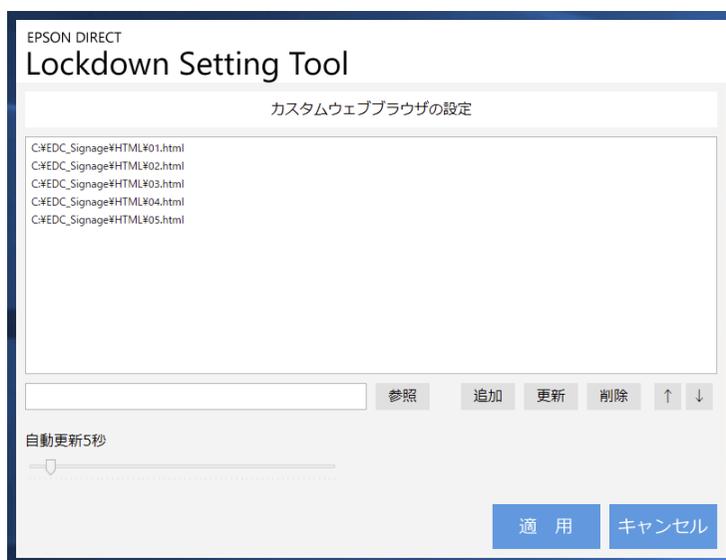
↓	↓	↓
A.jpg	1366	768
(画像名)	(横)	(縦)

- 4 同様に B.html、C.html も作成します。

- 5 作成した HTML 3 点 (A.html, B.html, C.html) を次の場所に保存します。

[スタート] を右クリック - 「エクスプローラー」 - 「PC」 - 「Windows(C:)」 - 「EDC\_Signage」 - 「HTML」

- 2 デスクトップの「Lockdown Setting Tool」アイコンを右クリックし、表示されたメニューから「管理者として実行」を選択します。
- 3 「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、「はい」をクリックします。
- 4 「Lockdown Setting Tool」が起動したら、「カスタムウェブブラウザ」をクリックし、「→表示コンテンツの設定」をクリックします。
- 5 「カスタムウェブブラウザの設定」画面が表示されたら、HTML 設定ファイルと自動更新時間の設定を行います。



#### < HTML 設定ファイルの登録 >

- 1 購入時に登録されている HTML 設定ファイル（5 点）を削除します。  
ファイルを選択して「削除」をクリックします。
- 2 「参照」をクリックし、使用する HTML 設定ファイルを選択します。  
「PC」－「Windows(C:)」－「EDC\_Signage」－「HTML」－「A.html」を選んで「開く」をクリック。「追加」をクリック  
一覧にファイルが登録されます。
- 3 同様に「B.html」「C.html」も追加します。
- 4 表示順番を変えたいときは、ファイルを選んで「↑」「↓」で変更します。  
※一覧の上から順に表示されます。

#### < 自動更新時間の変更 >

- 1 「自動更新」のスライダーを動かして時間を設定します。

設定が完了したら、「適用」をクリックします。



## 6 スライドショー表示を確認します。

[スタート] を右クリック - 「エクスプローラー」 - 「PC」 - 「Windows(C:)」 - 「EDC\_Signage」 - 「CustomBrowser(.exe)」(アプリケーション) をダブルクリックします。

スライドショーが開始されます。

スライドショーを停止する場合は **Ctrl** + **Alt** + **Delete** を押し、表示されたメニューで「タスクマネージャー」 - 「カスタムブラウザ」を選択し、[タスクの終了] をクリックします。

## 7 「Lockdown Setting Tool」画面に戻ったら、「指定したアプリケーションの終了時の OS 動作」を「アプリケーションを再起動」に設定します。

「アプリケーションを再起動」に設定することにより、何らかの原因でスライドショーが終了した場合でも、再びスライドショーを表示します。

## 8 [適用] をクリックします。

## 9 再起動を確認するメッセージが表示されたら、[はい] をクリックします。

コンピューターが再起動し、自動で「再生モード」でサインイン後、スライドショーが開始されます。

<サインアウトしたいときは>

**Ctrl** + **Alt** + **Delete** を押して表示されたメニューから「サインアウト」を選択します。

※ Keyboard Filter を設定している場合は  p.11 をご覧ください。

<再生モードでの自動実行を解除したいときは>

サインアウト後に管理者アカウントでサインインして設定変更を行ってください。

<シャットダウンしたいときは>

コンピューターの電源スイッチを押します。

## URL を表示する

PC 起動時にアプリ (Internet Explorer) を起動し、URL (ホームページ) を自動表示する方法は次のとおりです。

※作業の前に必ず  p.3「PC 起動時にコンテンツを自動実行するための準備」を行ってください。

### 1 「再生モード」アカウントでサインインします。

### 2 表示させる URL を「Internet Explorer」で「ホームページ」に設定します。

① [スタート] - 「Windows アクセサリ」 - 「Internet Explorer」をクリックします。

② Internet Explorer が起動したら、設定する URL のページを表示します。

③ 画面右上の  をクリックして「インターネットオプション」を選択します。

④ 「インターネットオプション」画面が表示されたら、「全般」タブの「ホームページ」で「現在のページを使用」をクリックし、[OK] をクリックします。

5 メニュー画面を非表示にしたい場合は、**F11** を押して全画面表示にします。

6 設定が終わったら **X** をクリックして Internet Explorer を終了します。

**3** デスクトップの「Lockdown Setting Tool」アイコンを右クリックし、表示されたメニューから「管理者として実行」を選択します。

**4** 「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、**[はい]** をクリックします。

**5** 「Lockdown Setting Tool」画面が表示されたら、**[独自に設定する]** をクリックします。

**6** 実行ファイルを指定する画面が表示されたら、「Internet Explorer」を選択して**[開く]** をクリックします。

「Program Files」 – 「Internet Explorer」 – 「iexplore.exe」

**7** 「Lockdown Setting Tool」画面に戻ったら、「指定したアプリケーションの終了時の OS 動作」を「アプリケーションを再起動」に設定します。

「アプリケーションを再起動」を選択することにより、何らかの原因で Internet Explorer が終了した場合でも、再び URL を表示します。

**8** **[適用]** をクリックします。

**9** 再起動を確認するメッセージが表示されたら、**[はい]** をクリックします。

コンピューターが再起動し、自動で「再生モード」でサインイン後、Internet Explorer で URL（ホームページ）が表示されます。

<サインアウトしたいときは>

**Ctrl** + **Alt** + **Delete** を押して表示されたメニューから「サインアウト」を選択します。

※ Keyboard Filter を設定している場合は  p.11 をご覧ください。

<再生モードでの自動実行を解除したいときは>

サインアウト後に管理者アカウントでサインインして設定変更を行ってください。

<シャットダウンしたいときは>

コンピューターの電源スイッチを押します。

## 動画を連続再生する

PC 起動時にアプリ (Internet Explorer) を起動し、動画を連続再生する方法は次のとおりです。  
※作業の前に必ず  p.3「PC 起動時にコンテンツを自動実行するための準備」を行ってください。

### 1 動画と HTML 設定ファイルを用意します。

- 1 次の場所に「video」フォルダーを作成します。  
[スタート] を右クリック - 「エクスプローラー」 - 「PC」 - 「Windows(C:)」 - 「EDC\_Signage」 - 「HTML」
- 2 「video」フォルダーに動画を保存します。  
ここでは例として「動画 .mp4」というデータを使用する前提で説明します。
- 3 メモ帳で HTML 設定ファイルを作成します。  
ここでは例として「video.html」という設定ファイルを作成する前提で説明します。  
内容は次のとおりにしてください。

```
<video controls autoplay loop width="1920" height="1080" >  
<source src="動画 .mp4">  
</video>
```

※使用する動画や画面のサイズに応じて **赤字箇所** を変更してください。  
※ファイル名は「video.txt」 → 「video.html」に変更してください。

- 4 作成した HTML 設定ファイル「video.html」を「video」フォルダーに保存します。

### 2 「再生モード」アカウントでサインインします。

### 3 再生する動画を「Internet Explorer」で「ホームページ」に設定します。

- 1 [スタート] - 「Windows アクセサリ」 - 「Internet Explorer」をクリックします。
- 2 Internet Explorer が起動したら、画面右上の  をクリックして「インターネット オプション」を選択します。
- 3 「インターネットオプション」画面が表示されたら、「全般」タブの「ホームページ」の入力欄に **1** で作成した HTML 設定ファイルの場所 (C:¥EDC\_Signage¥HTML¥video¥video.html) を入力します。
- 4 「詳細設定」タブの「マイコンピュータのファイルでのアクティブコンテンツの実行を許可する」にチェックを付けて [OK] をクリックします。
- 5 設定が終わったら  をクリックして Internet Explorer を終了します。

### 4 デスクトップの「Lockdown Setting Tool」アイコンを右クリックし、表示されたメニューから「管理者として実行」を選択します。

### 5 「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、[はい] をクリックします。

**6** 「Lockdown Setting Tool」画面が表示されたら、[独自に設定する] をクリックします。

**7** 実行ファイルを指定する画面が表示されたら、「Internet Explorer」を選択して[開く] をクリックします。

[Program Files] – [Internet Explorer] – [iexplore(.exe)]

**8** 「Lockdown Setting Tool」画面に戻ったら、「指定したアプリケーションの終了時の OS 動作」を「アプリケーションを再起動」に設定します。

「アプリケーションを再起動」を選択することにより、何らかの原因で Internet Explorer が終了した場合でも、再び URL を表示します。

**9** [適用] をクリックします。

**10** 再起動を確認するメッセージが表示されたら、[はい] をクリックします。

コンピューターが再起動し、自動で「再生モード」でサインイン後、動画が再生されます。

<全画面表示にしたいときは>

画面右下のアイコンをクリックすると全画面表示になります。



<サインアウトしたいときは>

[Ctrl] + [Alt] + [Delete] を押して表示されたメニューから「サインアウト」を選択します。

※ Keyboard Filter を設定している場合は  p.11 をご覧ください。

<再生モードでの自動実行を解除したいときは>

サインアウト後に管理者アカウントでサインインして設定変更を行ってください。

<シャットダウンしたいときは>

コンピューターの電源スイッチを押します。

## ドライブを保護する (Unified Write Filter)

「Unified Write Filter」によるドライブの保護設定をすると、設定変更やデータの書き込みなどができなくなります（設定変更や書き込みをしても再起動すると元に戻ります）。

ドライブの保護設定方法は次のとおりです。

※ 内蔵ドライブのみ保護設定が可能です。外付けの USB HDD などは保護設定できません。

- 1** デスクトップの「Lockdown Setting Tool」アイコンを右クリックし、表示されたメニューから「管理者として実行」を選択します。
- 2** 「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、[はい] をクリックします。
- 3** 「Lockdown Setting Tool」が起動したら、[C: を保護] \* をクリックします。  
機能が有効になると、タイルの色が濃い青になります。  
\* C以外のドライブ (D や E など) を保護する場合は、各タイルをクリックしてください。
- 4** [適用] をクリックします。
- 5** 再起動を確認するメッセージが表示されたら、[はい] をクリックします。  
コンピューターが再起動し、ドライブの保護が行われます。以降は設定変更やデータの書き込みができなくなります（設定変更や書き込みをしても再起動すると元に戻ります）。

※ C ドライブの保護を有効にすると、以降ツールの設定変更はできなくなります。  
ツールの他項目の設定を行う場合は、C ドライブの保護を一旦解除してください。

## キーボード入力を制限する (Keyboard Filter)

「Keyboard Filter」の設定を行うと、「再生モード」でサインイン後に、キーボードの入力を制限することができます。Keyboard Filter の設定方法は次のとおりです。

※ 作業の前に必ず「再生モード」アカウントを作成してください。

 p.3 「再生モードアカウントの作成」

- 1** デスクトップの「Lockdown Setting Tool」アイコンを右クリックし、表示されたメニューから「管理者として実行」を選択します。
- 2** 「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、[はい] をクリックします。
- 3** 「Lockdown Setting Tool」が起動したら、「操作の制限」の [Keyboard Filter] をクリックします。  
機能が有効になると、タイルの色が濃い青になります。
- 4** 「→ キーの選択」をクリックします。

- 5** 「キーの設定」画面が表示されたら、制限するキーにチェックを入れ、[適用] をクリックします。
- 6** 「Lockdown Setting Tool」画面に戻ったら、[適用] をクリックします。
- 7** 再起動を確認するメッセージが表示されたら、[はい] をクリックします。  
コンピューターが再起動します。「再生モード」でサインイン後、キーボード入力制限が行われます。

<Keyboard Filter 設定時のサインアウト方法>

 (Windows キー) を 5 回押すと「再生モード」アカウントからサインアウトします。

<再生モードでの自動実行を解除したいときは>

サインアウト後に管理者アカウントでサインインして設定変更を行ってください。

<シャットダウンしたいときは>

コンピューターの電源スイッチを押します。

## そのほかの機能

「オプション」項目の各機能について説明します。

### システム診断をする

システム診断ツールを使うと、ハードウェアに不具合が発生しているかどうかを診断することができます。

システム診断の方法は次のとおりです。

- 1** デスクトップの「Lockdown Setting Tool」アイコンを右クリックし、表示されたメニューから「管理者として実行」を選択します。
- 2** 「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、[はい] をクリックします。
- 3** 「Lockdown Setting Tool」が起動したら、「オプション」の [システム診断ツール] をクリックします。  
ツールが起動し、自動で診断が開始されます。
- 4** 診断が終了したら、診断結果を確認します。

「PASS」と表示された場合、ハードウェアは正常に動作しています。

「FAIL」と表示された場合は、該当項目に不具合がある可能性があります。

 [別紙『サポート・サービスのご案内』](#)をご覧ください。

## 輸送・保管モードに設定する（バッテリー搭載機種のみ）

バッテリー搭載機種\*の場合は、「輸送・保管モード設定ツール」が登録されています。輸送・保管をするときは、輸送中の電源オンやバッテリー消費を防ぐため、必ず輸送・保管モードに設定してください。設定は AC アダプターを接続した状態で行ってください。設定後、AC アダプターを取り外すと、設定が完了します。

輸送・保管後は、AC アダプターを接続した状態で電源を入れると設定が解除されます。

\*一部の機種ではツールが登録されていない場合があります。

## アプリを追加登録する

「オプション」項目には7つまでアプリを登録することができます。ここでは例として3つ目に「Internet Explorer」を登録する方法を説明します。

### 1 設定ファイルをデスクトップにコピーします。

[スタート] を右クリック→「エクスプローラー」→「PC」→「Windows(C:)」→「Program Files(x86)」→「EPSON DIRECT」→「EDC\_Signage」→「LockdownSetting(.ini)」(構成設定) をコピー

### 2 デスクトップにコピーした設定ファイルを編集します。

3つ目に「Internet Explorer」を設定します。

- 1 「LockdownSetting(.ini)」をダブルクリックします。
- 2 メモ帳が開いたら、[Options]に次の赤字箇所を書き加えて保存します。

- ・ Exe[n] キー

**Exe3="C:\Program Files\Internet Explorer\iexplore.exe"**

(アプリのパス)

- ・ Text [n] キー

**Text3="Internet Explorer"**

(ボタンに表示するアプリ名)

### 3 編集した設定ファイルを元の場所に上書きコピーします。

[スタート] を右クリック→「エクスプローラー」→「PC」→「Windows(C:)」→「Program Files(x86)」→「EPSON DIRECT」→「EDC\_Signage」

ファイルをコピーし、「ファイルの置換またはスキップ」と表示されたら、「ファイルを置き換える」を選択します。「このフォルダーへ移動するには管理者の権限が必要です」と表示されたら、[続行] をクリックしてください。

これで設定は完了です。「Lockdown Setting Tool」を起動して、項目が追加されているか確認してください。

18.09.26 (ED)